

地域活動費（館長権限予算）

「地域活動費（館長権限予算）」は、地域おこし・地域の特色を高めるものや、福祉、環境、子育てなどの地域課題に即応して効果的に対応する地域公益性に資するもので、地域合意が得られているソフト事業に対し、地区市民センターの館長の権限で使える予算を配分することで、迅速に事業を執行し、地域活動の活性化を促進するもので、平成 26 年度は、モデル地区として次の 8 地区市民センターにおいて事業を実施した。

【塩浜地区市民センター】支出金額：761,974 円



高齢者が自宅にこもりがちにならないよう、気楽に出かけて誰とでも話ができるような場所や機会を設けるとともに、子どもたちが保護者を交えて区内を自分の足で歩き、地域の名所等を目にするなど、実際に地域を感じる機会にしていくことを目的として、同センターで開催する「憩いの場」の開催日に合わせて、子どもや保護者、地域住民がだれでも参加できる「まち歩きツアー」を実施した。まち歩きの終点を「憩いの場」として、そこで高齢者とまち歩き参加者たちとの交流を図ったことにより、「憩いの場」の参加者からは満足度が高まったことが伺え、また、構想から実施までボランティアスタッフと打ち合わせを重ねる中で、やりがいを感じてもらうことにもつながっている。

【川島地区市民センター】支出金額：900,839 円



若い世代の住民が参加しやすいイベントの開催を通して新たな人材の発掘を行うとともに、各種団体・グループ活動等の情報を収集や発信を行うことで、新たな地域のネットワークを広げ協働の環境づくりを進めるため、「里山フェスタ」や「凧揚げ大会」を開催した。また、まちづくりに女性の視点を活用し、女性の人材育成を進めるために「まちづくり勉強会」や「おしゃべり女子会」を実施した。イベント開催に際しては、地元の NPO や大学と協働し、ボランティアとして地元の中学生の参画を得たことで、まちづくりに関わる人材の幅も広がっている。

【神前地区市民センター】支出金額：362,844 円



地域住民が里山の良さを認識し、新たな里山保全の担い手を確保するため、里山保全モデル事業として取り組んだ。高齢化等により維持管理することが困難な地権者が増加し、手入れの行き届かない里山が増えていることから、地域における里山を守る会の活動エリアを拡大して、里山整備を進めた。地域団体や地権者等への事業内容の説明、作業内容の協議を行うことを通じて、地域の資源としての里山を保全する地域の体制づくりにつながっている。

【三重地区市民センター】支出金額：823,824 円



三重西地域において、高齢化が進み、住民同士のつながりが希薄になりがちな地域の活性化や一体感の醸成を図るとともに、住み慣れた地域で住み続けるために、親子孫の3世代が集い、交流できるイベントとして「三重西3世代交流フェスタ」を開催した。福祉・健康づくり・青少年育成等各分野で活動する団体等がブースを出店し、多くの住民やその家族が集い、交流し、互いに支え合いのまちづくりのPRになっている。

【八郷地区市民センター】支出金額：845,536円



先人から受け継いだ豊かな自然、歴史、伝統文化等を守り育てるとともに、これらの地域資源に誇りを持ち、子どもから高齢者まで、世代を超えて、ふれあい、絆を大切にするため、八郷汁の農業体験学習及び収穫祭を実施した。企画から運営まで、子どもたちも含めた地域住民、行政、NPO等が協力して実施することにより、地域の連帯感を強めることができた。また、地域住民から情報を収集し、八郷の歴史、史跡を学習できる歴史書と、自然・文化や歴史等を体感できる散策マップを作成するなど、地域への誇りの醸成にもつながっている。

【水沢地区市民センター】支出金額：1,499,058円



少子高齢化や人口減少が進行していることから、将来の定住者となり得る来訪者のファンを増やすため、水沢地区にある豊かな自然や多くの史跡・名勝等の場所や魅力をわかりやすくするよう「魅力の見える化」を進め、地域の方々の力も借りながら協働して、史跡・名勝の案内板や標柱を設置した。この取り組みを通して、地域の貴重な資源に誇りを持って後世に引き継ぐことや、地域活動の活性化の維持・向上を図る「きっかけづくり」に寄与できている。

【橋北地区市民センター】支出金額：626,973円



高齢者の居場所や生きがいがづくりの場を提供することによって、地域住民の連携を深めるため、「おとなの小学校事業」を実施した。こどもは年齢がくれば小学校にあがると同様に、おとなも定年を迎える年齢が訪れると「おとなの小学校」に通い、生涯学習に取り組んだり、クラブや趣味の活動をしたり季節の行事などを盛り込んだ、地域独自の学校を開催した。これまで、地域活動を行っていなかった人や生涯学習に興味があっても参加できなかった人に参加していただくことができ、また、講座を受講していく中で、「おとなの小学校」で学んだ成果を地域に還元しようとする動きも出てきている。

【中部地区市民センター】支出金額：1,026,663円



さらなる高齢化の進展が現実問題として懸念される地区において、住民同士の見守り・支え合い体制をすすめていくことが必要であり、高齢者を見守る人材、ボランティアを養成するため、高齢者の見守りに関する知識の習得や、地区のネットワークや関係団体等との連携などに関する研修会・講演会を開催した。高齢者の方々の生きがいがづくりに関する講演会では、高齢者の見守り、支えあいを通じて、自分たちの地域は自分たちで守っていこうという地域における意識の向上につながっている。